

## 授業改善推進プラン〈図画工作科〉

### 図画工作科における昨年度の授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>〈知識及び技能〉</p> <p>○用具や材料に関する知識や経験を基に、適切に扱ったり総合的に生かしながら表現に生かしたりすることができる。</p> <p>○色や形に対する感覚が豊かであり、動きや奥行き、バランスを感覚的に理解している児童が多い。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <p>○与えられた題材に対し自分なりの主題を見付け、どのように表現するかを考えることができる。</p> <p>○材料の特徴や偶然の表現などから発想を生み出したり、見たことや想像したことを表現に結び付けたりすることができる。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <p>○つくりだす喜びを味わいながら進んで活動に取り組もうとする。題材の枠組みを超えて表現を深めようとする児童もいる。</p>	<p>〈知識及び技能〉</p> <p>●中学生に向け、カッターナイフや彫刻刀、電動糸鋸などの様々な用具に関する技能や経験を確かなものにする必要がある。</p> <p>●想像したことや感じたことを基に表す経験が豊富であるが、見たことを基に表す経験に乏しい。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <p>●低学年を中心に、個々の問題として題材に対して向き合い方が思い付かなかったり、投げやりになってしまったりする児童もいる。</p> <p>与えられた題材や環境に対して「自分ならこうする」という創造性に富んだ向き合い方ができる児童が更に増えるとよい。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <p>●中学年に関して、マナーやモラルについて考える機会を設定していくことで、自分だけでなく他者を含めた「つくりだす喜び」を尊重できる環境を培えるとよい。</p>

### 〈具体的な授業改善策〉

<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階にあわせて、学年ごとに計画立てていろいろな材料・用具、技法を経験するとともに、刃物や電動工具に関して技能を確実にすることができるような題材計画を行う。</li> <li>・見たことを基に絵や立体、工作などに表す機会をより効果的に組み入れるようにする。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材置き場の活用など、児童が発想を掻き立てられるような図工室の環境をつくっていく。</li> </ul> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びや相互鑑賞など互いに関わり合い表現する機会も取り入れていくと共に、生活指導的な側面でも指導を充実させていく。</li> </ul>
---